

三島神社(茅ヶ崎)について

須藤 格*

はじめに

J R相模線北茅ヶ崎駅の改札を出ると鳥居、小さな社、玉垣、手洗石、狛犬などがある。三島神社といわれるこの社は、神奈川県神社本庁の一覧にも掲載されておらず、これまで記録がほとんどなかった。平成 26 (2014) 年 12 月に、三島神社の社殿の屋根が雨漏りするため、その修繕のための葺き替え工事を行う旨の連絡を世話人の方から文化資料館にいただいた。現地で棟札や本地への建立に関する芳名帳を拝見し、聞き取りさせていただいた結果をここに報告する。



図 1 三島神社の位置

1 調査について

調査日：平成 26 (2014) 年 12 月 25 日

調査場所：三島神社 (茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-3-1)

調査方法：聞き取り、芳名帳の内容確認、
棟札の確認及び写真撮影

話者：三島神社の世話人の方

2 調査結果

世話人の方に行った聞き取りの結果を下記に記す。

- ・「社の中に棟札 (図 2, 12) がある。昭和 2 (1927) 年と伊藤里之助の銘がある。」
- ・「祖父が、藤沢にあった伊藤家の分家に婿養子に入った。」
- ・「明治 45 年 (大正元年・1912) 頃のことらしいが、4 女の足が悪いことを悩んでいたところ、祖母が夢見で『権現さんを祀らないと治らない』と言われ、現在の東邦チタニウムのあたりに高根三島権現を建立した。」
- ・「祀った結果、4 女の足が治ったため、社を造った。」
- ・「その噂を聞いてか、新町や本村などの市内だけでなく東京や横浜から参拝があった。」
- ・「茅ヶ崎駅周辺にいくつかあった置屋の人たちがお参りに来ていた。」
- ・「氏子中は特になかった。」
- ・「東邦チタニウムのあたりにあったころは、参道が 50m くらいあり、満願成就の鳥居がいっぱいあった。」
- ・「関東大震災で (社が) 壊れてしまったのを、昭和 2 (1914) 年に再建した。」
- ・「昭和 40 (1965) 年頃、東邦チタニウムの工場の拡張に伴い、現在の土地に移った。」
- ・「例祭は 5 月 1 日。宮司は第六天神社さんから来てもらっている。」

3 棟札と芳名帳について

棟札は、社の梁に下向きに釘で打ち付けられている。棟札の寸法及び墨書で記されている内容は次のとおりである。

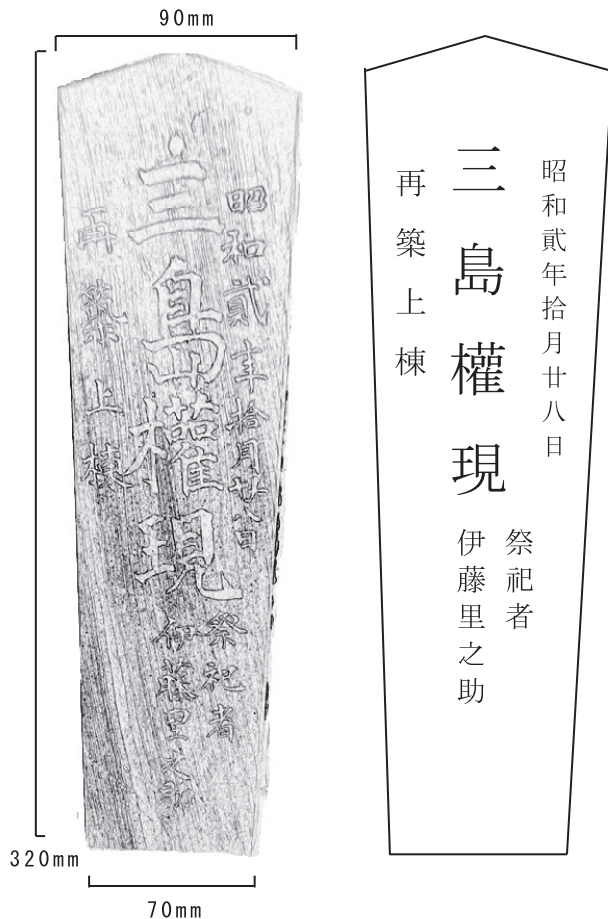


図2 棟札（図12を元に作図）

「高根三島権現再築費寄付芳名録」（図13）には、世話人の祖父を含む3名の発起人の氏名のほか、茅ヶ崎町の初代町長を務めた伊藤里之助をはじめ、再建の際に寄進された272名の氏名や品目等が記載されており、当時多くの人が再建に関わったことが伺える。

おわりに

今回は、世話人の方のご厚意により棟札等の貴重な有形資料だけでなく、聞き取りにご協力いただいたことで、地域遺産である記憶も記録保存することができた。ご協力いただいた世話人の方に心より感謝申し上げます。

参考文献

- 「茅ヶ崎市史5 概説編」茅ヶ崎市, 1982
 「写真集茅ヶ崎きのうきょう」茅ヶ崎市, 1987
 「地図集大地が語る歴史」茅ヶ崎市, 1994
 福田アジオほか「日本民俗大辞典」吉川弘文館, 1999
 東邦チタニウム株式会社の沿革
<http://www.toho-titanium.co.jp/company/history.html>
 神奈川県神社本庁
<http://www.kanagawa-jinja.or.jp/>

脚注

- i 文化資料館蔵
- ii 文化資料館蔵
- iii 東邦チタニウム茅ヶ崎工場蔵
- iv 東邦チタニウム株式会社「東邦チタニウム25年史」, 1981
- v 文化資料館蔵

* 茅ヶ崎市教育委員会茅ヶ崎市文化資料館学芸員



図 3 航空写真（1947 年）ⁱ



図 4 航空写真（1971 年 6 月）ⁱⁱ

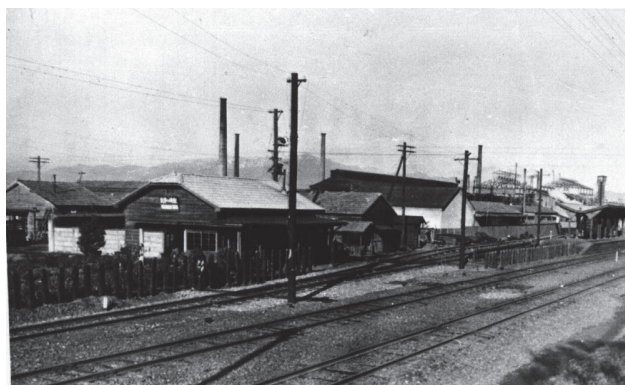


図 5 操業開始時の東邦チタニウム正門付近及び北茅ヶ崎駅（1950 年頃）ⁱⁱⁱ



図 6 東邦チタニウム茅ヶ崎工場（1952 年）^{iv}



図 7 北茅ヶ崎駅とその付近（1975 年頃）^v



図 8 北茅ヶ崎駅と三島神社（2014 年 10 月）



図 9 三島神社（2014 年 10 月）



図 10 三島神社（2014 年 10 月）



図 11 本殿（2014 年 10 月）



図 12 棟札



図 13 「高根三島権現再築費寄附芳名録」